

平成30年度

個性ある区づくり推進費

決算

緑 区



平成30年度 個性ある区づくり推進費 事業一覧

[単位:円]

No.	事業名	新規重点	H30予算額	H30決算額	増△減 (予算額-決算額)	所管課	ページ
自主企画事業							
① 安全・安心なまち			13,476,000	13,167,068	308,932		
1	災害に強いまちづくり事業	重点	7,587,000	7,566,829	20,171	総務課・福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,430,000	1,426,700	3,300	地域振興課	3
3	交通安全対策事業		2,700,000	2,664,951	35,049	地域振興課	4
4	暮らしの衛生推進事業		1,759,000	1,508,588	250,412	生活衛生課	5
② いきいき暮らせるまち			24,796,000	23,067,274	1,728,726		
5	健康たうん・みどり推進事業	重点	3,115,000	2,813,685	301,315	福祉保健課	7
6	みどり食育実践推進事業		1,109,000	1,067,399	41,601	福祉保健課	7
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		2,467,000	2,389,995	77,005	福祉保健課	8
8	緑区ふれあいあんしん推進事業		503,000	400,072	102,928	福祉保健課	9
9	あんしん子育てネットワーク事業		7,327,000	6,929,483	397,517	子ども家庭支援課	9
10	保育所すこやか子育て支援事業		2,243,000	2,032,656	210,344	子ども家庭支援課	10
11	DV対策・児童虐待防止事業		845,000	610,151	234,849	子ども家庭支援課	11
12	中学生等キャンパスチャレンジ事業		70,000	13,900	56,100	子ども家庭支援課	11
13	学校・家庭・地域連携事業		1,279,000	1,215,183	63,817	子ども家庭支援課	12
14	青少年地域サポート事業		3,118,000	3,009,511	108,489	地域振興課	12
15	福祉保健データ集作成事業		500,000	756,000	△ 256,000	福祉保健課/高齢・障害支援課	12
16	高齢者生きがい推進事業		432,000	429,660	2,340	高齢・障害支援課	13
17	地域のささえ愛事業		420,000	448,800	△ 28,800	高齢・障害支援課	13
18	高齢者あんしんサポート推進事業		353,000	203,524	149,476	高齢・障害支援課	13
19	障害者自主製品販売支援事業		415,000	209,016	205,984	高齢・障害支援課	14
20	子どもの自立を支える地域ネットワーク事業		600,000	538,239	61,761	生活支援課	14
③ みどりの魅力あふれるまち			58,536,000	59,794,008	△ 1,258,008		
21	緑区制50周年準備事業	新規・重点	3,500,000	3,608,736	△ 108,736	区政推進課	16
22	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業	新規	700,000	388,800	311,200	戸籍課	16
23	親しまれる水辺環境づくり事業	新規・重点	2,000,000	1,730,160	269,840	土木事務所	16
24	魅力ある公園づくり事業	新規	900,000	810,000	90,000	土木事務所	16
25	次世代プロジェクト		2,653,000	2,112,353	540,647	区政推進課	16
26	みどり！まるごと応援事業		4,833,000	3,674,950	1,158,050	区政推進課	17
27	スマートイルミネーション		4,500,000	4,410,680	89,320	区政推進課	18
28	みどり地域まちづくり推進事業		1,730,000	1,526,164	203,836	区政推進課	19
29	読書活動推進事業		300,000	300,210	△ 210	地域振興課	19
30	子ども達の夢の緑区推進事業		1,314,000	1,191,551	122,449	地域振興課	20
31	緑・芸術文化事業		1,923,000	1,886,801	36,199	地域振興課	20
32	3R推進事業		1,850,000	1,844,227	5,773	地域振興課	21
33	きれいなまちづくり事業		5,205,000	5,000,471	204,529	地域振興課	21
34	足を運んでみよう！商店街事業		500,000	801,283	△ 301,283	地域振興課	22
35	区民まつり事業		4,900,000	4,900,000	0	地域振興課	22
36	地域振興事業		1,935,000	1,942,969	△ 7,969	地域振興課	22
37	消費生活推進事業		1,065,000	941,974	123,026	地域振興課	23
38	市民活動パワーアップ支援事業		2,868,000	2,654,320	213,680	地域振興課	23
39	みどりスポーツ振興事業		3,617,000	3,569,253	47,747	地域振興課	24
40	区民への情報提供事業		6,700,000	7,446,588	△ 746,588	区政推進課	25
41	区民の声把握事業		2,055,000	2,022,592	32,408	区政推進課	25
42	区民から親しまれる区役所づくり事業		3,488,000	7,029,926	△ 3,541,926	総務課	26
自主企画事業費 計			96,808,000	96,028,350	779,650		
環境未来都市推進事業							
	地域のつながりづくり推進事業		1,000,000	1,000,000	0	区政推進課	27

平成30年度 個性ある区づくり推進費決算 総括表

[単位:円]

区 分	H30予算額	H30決算額 【執行率】	増△減
1 自主企画事業 (42事業)	96,808,000	96,028,350 【99.2%】	779,650
(1) 安全・安心なまち (4事業)	13,476,000	13,167,068	308,932
(2) いきいき暮らせるまち (16事業)	24,796,000	23,067,274	1,728,726
(3) みどりの魅力あふれるまち (22事業)	58,536,000	59,794,008	△ 1,258,008
【重点政策事業】 4事業 総額 15,719千円			
◆災害に強いまちづくり事業 * (1)で計上		7,566,829円	
◆健康たうん・みどり推進事業 * (2)で計上		2,813,685円	
◆緑区制50周年準備事業 * (3)で計上		3,608,736円	
◆親しまれる水辺環境づくり事業 * (3)で計上		1,730,160円	
2 環境未来都市推進事業	1,000,000	1,000,000 【100.0%】	0
地域のつながりづくり推進事業	1,000,000	1,000,000	0
3 一般管理費	595,680,000	590,292,478 【99.1%】	5,387,522
(1) 統合事務費	23,958,000	23,093,354	864,646
(2) 区庁舎・区民利用施設管理費	571,722,000	567,199,124	4,522,876
ア 区庁舎等	107,903,000	101,594,567	6,308,433
イ 地区センター等	413,147,000	415,108,309	△ 1,961,309
ウ 公会堂	39,337,000	39,917,000	△ 580,000
エ 区庁舎・区民利用施設修繕費	5,230,000	4,669,711	560,289
オ その他(広場・遊び場)	6,105,000	5,909,537	195,463
合 計	693,488,000	687,320,828 【99.1%】	6,167,172

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

① 安全・安心なまち 13,167,068 円

1 災害に強いまちづくり事業【重点】 7,566,829 円

災害に迅速かつ的確に対応できる体制を強化するとともに、行政・地域・団体等が連携し、地震、風水害等の危機に対して日頃から地域や個人で備える取組を推進することにより、緑区全体の危機管理能力を高め、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを進めました。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害時に円滑に行動できるよう区本部運営訓練の実施（1月）
- イ 災害対策本部用の食糧等の購入による計画的な備蓄の実施（1月）
- ウ 地域BWA（Broadband Wireless Access）を活用した情報伝達手段の確保（11月）
【新規】（全5基地局整備完了 地域BWA無線端末11台貸与 タブレット11台購入）
- エ 緊急時の応急救護体制を確保するため区職員に対する救命講習を実施（10月）
- オ 大地震及び風水害発生時に区役所が迅速に対応できるよう防災研修会の実施
（6月5日、6月6日、9月3日）

(2) 地域防災拠点強化事業

- ア 全地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕
（7月～8月、2月）
- イ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習（6月1回、7月3回実施）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施（3月2日 緑公会堂 防災システム研究所 所長 山村 武彦氏 380人）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月6日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月18日 40人）
- エ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月16日）

(4) 減災行動啓発事業

- ア 小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催（7校）
- イ 小中学生等を対象とした啓発事業こどもアドベンチャーの実施（8月）
- ウ 区民祭りでの防災・減災啓発ブースの出店（10月）

(5) 緑区防災計画「震災対策編」の修正

(6) 災害時要援護者支援事業補助金事業

災害時要援護者支援を行う団体に対する補助金の交付（7団体申請）

(7) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練及び研修の実施（9月2日 鴨居中学校、緑区役所）
- イ 災害時医療のぼり旗掲出訓練の実施（10月22日から24日まで）
- ウ 保健活動グループの訓練の実施（9月2日 森の台小学校、鴨居小学校）

(8) 霧の里防犯防災活動センター運営

2 安全・安心まちづくり推進事業 1,426,700 円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行いました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月17日 緑区役所）

イ 活動内容

(ア) 防犯パトロール物品等の提供（通年）

(イ) 子どもの安全・安心に向けた活動（8月17日 緑区役所 178人）

親子で学べる護身法・防犯ワークショップの開催

(ウ) 啓発活動

a 振り込め詐欺・自転車盗防止キャンペーン

駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等

(a) 緑警察署と協力した駅頭防犯キャンペーン

（4月10日 中山駅、10月11日 鴨居駅、10月12日 十日市場駅、

10月16日中山駅、10月19日 長津田駅）

(b) 広報よこはま等の広報媒体を活用した振り込め詐欺防止啓発記事掲載

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(2) 地域の防犯カパワーアップ

防犯リーダー養成講座の開催（11月14日 39人）

自治会や関係団体の防犯担当者を対象に講習会を開催しました。

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで毎日配信しました。

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時における連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信しました。

3 交通安全対策事業

2,664,951円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進しました。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みました。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月18日）

イ 幹事会の開催（5月24日、8月21日、11月1日、2月19日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

(ア) 春の全国交通安全運動（4月6日 鴨居駅）

(イ) 交通事故死ゼロを目指す日（4月9日 中山駅、9月28日 台村町交差点周辺）

(ウ) 夏の交通事故防止運動（7月11日 十日市場駅）

(エ) 秋の全国交通安全運動・区民大会（9月21日 緑公会堂 入場者数 380人）

(オ) 年末の交通事故防止運動（12月11日 長津田駅）

平成30年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

(ア) 駅前及び交差点での啓発(5月8日 中山駅 雨天により中止)

(イ) 登校時の高校生への啓発(5月21日 霧が丘高校、5月31日 白山高校)

(ウ) 自転車駐車で啓発(6月25日 中山駅南口第二自転車駐車場、

6月26日 十日市場駅北口自転車駐車場、6月27日 鴨居駅南口第二・第五自転車駐車場、6月28日 長津田駅北口第三自転車駐車場)

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行(3月)

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

(ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催

(6月1日、8月29日、11月9日、2月27日)

(イ) 高齢者向け交通安全教育(交通安全シルバーリーダー研修会)実施

(1月24日 251人)

イ 児童交通安全教育・対策

はまっ子交通あんぜん教室(児童交通安全教育)の実施

(6月12日 鴨居小学校、6月19日 霧が丘学園小学部、

6月29日 上山小学校、10月17日 いぶき野小学校)

ウ スクールゾーン対策

(ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施(4月25日 緑区役所)

(イ) スクールゾーン対策協議会への助成

(ウ) 電柱巻標識、路面標示の新設・補修

(エ) 横断旗等の配布(2月 横断旗310本 旗缶33缶)

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催

(7月12日 十日市場駅、7月17日 中山駅、7月19日 鴨居駅、7月24日 長津田駅)

イ クリーンキャンペーンの実施

(10月11日 鴨居駅、10月12日 十日市場駅、10月18日 中山駅、10月19日 長津田駅)

4 暮らしの衛生推進事業

1,508,588円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を行いました。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施しました。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店、小学校給食等の営業者・調理従事者に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施

食中毒予防キャンペーン(7月31日 アピタ長津田 1,020人)

ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施(10月)

エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等(秀級施設)の紹介、ステッカーの配付

(1月 28施設)

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(2) 人と動物との共生事業

- ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発
飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月）
- イ 動物愛護普及啓発
小学生を対象とした犬猫等の適正飼育啓発講座の開催
（8月14日 緑ほのぼの荘 29人）

(3) 安心・快適なくらし推進事業

- ア 暮らしの中の虫相談
区民まつりにおける衛生害虫等注意喚起の実施（10月21日）
- イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

- ア 災害時のペット対策啓発
 - (ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布
 - (イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会（拠点運営委員向け）の開催
（6月30日 緑区役所 6拠点10人）
講師：NPO 法人アナイス 理事長 平井 潤子 氏
 - (ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施やペット用非常持出品等の展示・紹介
及び緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発（9月）
 - (エ) 区役所イベントスペースにおけるペット同行避難の啓発展示
（7月30日～8月3日）
- イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

② いきいき暮らせるまち 23,067,274 円

5 健康たうん・みどり推進事業【重点】 2,813,685 円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みました。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行いました。

(1) 健康づくり月間行事

区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月21日 区民まつり会場 延4,804人）

(2) 健康づくり講演会

区医師会と共催で健康をテーマとした講演会を実施（10月27日 緑公会堂 372人）
講師 落語家 林家 木久蔵氏 「木久蔵流 笑うが一番」

(3) 思いやり健康づくりの日事業

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施
（9回 延1,831人）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（6回 延132人）

(4) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援（6回 134人）

(5) 緑をたっぷり召し上がれ事業

ア 食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（5回 延858人）

イ 区民まつり等既存事業の中で、野菜摂取状況に関する簡易アンケート調査を実施

(6) 若年層の生活習慣病予防セミナー

健康習慣改善の意識を持ちにくい若年世代に対して、生活習慣病予防に向けた動機づけを図るため、関係機関と連携した取組を推進

（5月29日、6月7日 緑区役所 延30人、子育て支援拠点等 6回 延235人）

(7) 感染症対策

感染症の集団発生・まん延防止のため、施設関係者向け研修を実施（全4回 104人）

(8) ミドリウォーキング事業

ア 地域活動団体等と連携したウォーキングを推進するための各種イベントの実施

（ア）全区イベント 12月8日 白山コース、北八朔コース、三保コース（62人）
（三保コースは緑区遺産ウォーキングとして実施）

（イ）地域イベント 9月27日（雨天により中止）、10月30日（13人）、11月13日（9人）

イ 緑区ホームページ、ウォーキングマップ等によりウォーキング関連情報を提供
（ウォーキングマップ増刷 2,000部）

6 みどり食育実践推進事業 1,067,399 円

緑の恵み豊かな区の特徴を生かし、さまざまなライフステージにある区民が、世代にあった「食」に関する正しい知識を持ち、健全な「食」を選択し実践できるよう、食育イベントや体験型食育講座を実施しました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 食育月間キャンペーン

食育月間に合わせ、地域関係団体に加え、学校、企業等と広く連携し、地産地消を生かせるような食育講演会及び関連イベントを実施

ア 食育講演会（6月26日 緑公会堂 117人）

講師 小山 浩子氏

「健康寿命百歳を目指して…」～乳和食でおいしく食べて健康に～

イ 食育関連イベント（6月23日 緑区役所 延593人）

体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯の健康チェック、健康チェック、地場野菜の販売ほか

(2) 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座や、幅広い対象者向けの食育啓発講座を実施

ア 学校と連携した子ども向け講座の実施

（小・中学校 3回 157人、8月17日 子どもアドベンチャー1回 22人）

イ 生活困窮者等を対象に生活習慣病予防のための講座等を実施

（講座 2月16日 10人、個別相談 1月22日 1人、2月15日 2人）

ウ 区老連まつり 9月12日（47人）、思いやり健康づくりの日 11月6日（37人）

エ その他（他区への貸出 9回）

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

2,389,995 円

身近な地域で誰もが安心して暮らしつづけられるよう、共に支えあい、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進しました。また、今年度は計画推進の3年目として中間振り返り、次年度以降の4期計画策定に向けた準備も進めました。

第3期計画期間中は、区域全体で「日常的な見守り体制づくり」や「認知症」、「子ども・子育て」、「障害児・者」、「災害時に支援が必要な方」、「健康づくり」の6つのテーマに関わる取組を重点的に推進していきます。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会の開催（10月9日、3月20日）

イ 地区別計画推進委員会の開催（11地区）

各地区2回～10回開催（11地区で計31回開催）

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月14日、10月15日）

エ 地区別計画の推進のための事業の実施

オ 区域計画重点テーマに係る活動発表会（2月26日 区社会福祉大会にて実施）

カ 第3期みどりのわ・ささえ愛プランの広報・PR

計画広報・PRイベント「出張型・みどりのわcafé」の開催

（10月28日 山下ふれあいまつり、11月11日 竹山福祉まつり）

(2) 地域福祉保健情報発信事業の実施

福祉保健センターからのお知らせの発行（3月 9,000部）

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

8 緑区ふれあいあんしん推進事業

400,072 円

ひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守り体制を充実するため、民生委員・児童委員による安否確認及び訪問を通じて地域のイベント等の情報提供を行いました。具体的には、民生委員・児童委員協議会により定期的に電話をかけて安否確認等を行うふれあいコールに対する助成をしました。(29 年度末時点登録者数 86 人)

9 あんしん子育てネットワーク事業

6,929,483 円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座・地域の子育て支援活動との連携・各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行いました。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜・日曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児知識を提供しました。(区内の地域ケアプラザ6か所で9回実施 314人、緑区役所3回実施 166人)

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催しました。(14か所の会場で各9回 計126回実施 延3,634人)

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施しました。(1日コース9回、2日コース3回実施 207組 501人)

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施しました。(個別相談 年27件、スーパーバイズカンファレンス 年1回)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所・児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施しました。(271回、ボランティア数延613人)

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成しました。(助成6件)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行いました。(全体会2回、長津田分科会、十日市場分科会、中山分科会、鴨居分科会 各1回)

また、平成29年度に行った地区別分科会の結果を踏まえ、長津田みなみ台及び白山地区において、親子の居場所を月に1回程度開催しました。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信しました。(メールマガジン毎月1回配信、登録者数506人)

平成30年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布しました。(3月 6,000部)

ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット

区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所・幼稚園・小中学校等に配布しました。(7月 10,000部)

エ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図りました。(毎月1,000部)

オ 保育施設のご案内

利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内を発行しました。(5月、10月 計5,000部)

カ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新しました。

キ 保育所等利用者説明会・個別相談会

保育施設、幼稚園を中心とした説明会・個別相談会を実施しました。

(6月22日 152人、10月25・26日 270人 緑区役所)

10 保育所すこやか子育て支援事業

2,032,656円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育所施設等とのネットワークの構築を進めました。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳・おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施しました。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進しました。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できるイベントを民間園と共に実施し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図りました。

鴨居エリア(鴨居保育園) 6月16日 279人、中山・十日市場エリア(緑区役所・緑公会堂) 11月10日 677人、長津田エリア(長津田保育園・長津田地域ケアプラザ) 11月10日 443人

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放しました。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化の防止につなげました。

ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会

地域の子育て支援実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有することで、地域子育て支援の充実に図りました。

(9月11日、3月12日)

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行いました。（21 件）

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出や、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やしました。（16,196 冊）

ウ 園庭開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週 5 日の園庭開放を実施し、曜日を問わない子育て支援を行いました。

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげました。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施しました。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図りました。

（緑のカーテン 4 園、世代間交流 38 回、エコキッズおそうじ隊 40 回）

11 DV対策・児童虐待防止事業

610,151 円

DV被害者等の相談に対する体制の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行いました。

また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施しました。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（毎月 1 回 22 件）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修（第 1 回 5 月 10 日、第 2 回 11 月 15 日）

12 中学生等キャンパスチャレンジ事業

13,900 円

次世代を担う自立した青少年を育成するため、中学生等の体験の場及び学習機会を提供するとともに学校、大学及び関係機関等との意見交換会を実施しました。

(1) 中学生等の体験の場・学習機会の提供

区内及び市内大学との協働により、通常の教育課程では得られにくい学習や体験の機会を中学生等に提供しました。

(2) 意見交換会の開催

次世代の育成に関する学校、大学及び関係機関等と意見交換会を開催し、互いの取組・活動などを相互に共有するとともに、関係機関の連携強化を図りました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

13 学校・家庭・地域連携事業

1,215,183 円

青少年の健全育成等を図るため、区内の7中学校区における学校・家庭・地域連携事業実行委員会に補助金を交付し、各実行委員会が実施しているさまざまな青少年育成活動を支援しました。また、各中学校区の取組を共有し活動の推進を図るため、緑区学校・家庭・地域連携事業推進協議会を開催しました。

(1) 青少年の健全育成を図る活動への支援

各実行委員会が実施する環境美化活動、職場体験学習及び職業講話、異世代間交流、パトロール活動などに補助金を交付しました。

(2) 緑区学校・家庭・地域連携事業推進協議会の開催

青少年の健全育成等を目的として実施される学校・家庭・地域連携事業を効果的に推進するため、各中学校区の取組を共有し活動の推進を図るための意見交換を行いました。
(7月6日)

14 青少年地域サポート事業

3,009,511 円

地域が大切に育んできた次世代を担う青少年を、より一層健やかに育てる環境づくりや取組推進に向けて、地域における青少年健全育成の担い手である青少年指導員連絡協議会の取組支援や区内市民活動団体等による青少年育成活動支援を実施しました。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援（5事業）

(2) 青少年指導員事業

ア 緑区の青少年指導員の活動支援

緑区青少年指導員連絡協議会主催の青少年向け防災啓発事業
(11月25日 十日市場小学校 58人)

イ 青少年指導員と協働で社会環境をより良くすることを目的としたキャンペーン活動等の実施(10月21日)

(3) 青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

15 福祉保健データ集作成事業

756,000 円

緑区地域福祉保健計画の推進及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、区内各地区の人口推移や年齢構成、社会資源などを総合的にまとめ、分かりやすく地図上に表記した『地区別暮らしのデータ集』に、在宅医療に関する項目、地域活動に関する項目を記載した『データ集・別冊』を作成しました。

『地区別暮らしのデータ集』及び『データ集・別冊』は、区役所各課や区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等で共有し、地域と共に課題を抽出し、その検討をする際に活用します。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

16 高齢者生きがい推進事業

429,660 円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進しました。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月7日 緑公会堂 500人）

イ 囲碁・将棋大会（12月7日 緑ほのぼの荘 72人）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

17 地域のささえ愛事業

448,800 円

高齢者や障害者の社会参加を促進するため、緑区社会福祉協議会が独自に行っている、地域の高齢者・障害者が外出する際の移送活動を支援しました。（移送実施回数 513回）

18 高齢者あんしんサポート推進事業

203,524 円

認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、警察及び地域包括支援センター等関係機関と連携し、認知症高齢者等SOSネットワーク事業の充実を図るとともに、認知症サポーターを増やすことにより地域のネットワークづくりを進めました。

また、高齢者の命を守るため、特別養護老人ホームなどへ緊急保護を行うにあたり必要となる日用品や通院手段を確保します。さらに、介護予防の観点から高齢者の日常的な外出を促進するため、地域と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図りました。

(1) 認知症高齢者SOSネットワーク推進事業

日頃の生活での見守り支援が充実し、高齢者の行方不明発生時にも見つけやすい地域づくりなどの支援体制を強化しました。

ア 認知症高齢者等SOSネットワークへの登録促進

各種講演会等での登録事業の周知

イ 認知症サポーター養成の推進

養成講座の実施支援

認知症キャラバン・メイトのつどい（5月30日 35人、11月30日 23人）

ウ 認知症のある方や家族に対する支援体制づくり

認知症初期集中支援検討委員会（9月27日）

(2) 在宅高齢者緊急サポート事業

既存の事業では適用範囲となっていない移送費や日用品費について、虐待や認知症等を理由に高齢者を緊急保護する際に一時的な支援が必要であるため、要保護者の支援方策として本事業を継続して実施しました。

(3) 高齢者外出促進事業

高齢者の外出促進に寄与する情報を集約して見える化しながら、地元自治会と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図りました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

19 障害者自主製品販売支援事業

209,016 円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいがづくりの場を充実するとともに、区民の障害への理解を促進しました。

(1) 障害者通所施設のネットワークづくり

区内の自主製品販売を行っている施設が集まる場として立ち上げた「日中活動連絡会」を施設とともに開催します。各施設の要望に沿ったテーマについて情報交換や共有を行い、施設間の連携強化を図りつつ、主体的な運営を促しました。

(連絡会の開催 7月6日、10月5日、1月18日)

(2) 商品の魅力アップや新製品の開発支援

引き続き外部アドバイザーとともに意見交換を行い、商品の魅力アップや緑区制 50 周年に向けた緑区オリジナル製品の開発を支援しました。

(3) 共同販売の推進

定期的な自主製品販売や既存イベント等を活用した共同販売を広く区民に知ってもらうため、広報よこはまや緑区ホームページ、パンフレット等を活用し PR を強化しました。

また、集客力を高めるため、施設とともに販売促進につながるグッズを作成しました。

20 子どもの自立を支える地域ネットワーク事業

538,239 円

子どもの自立に向けて、地域で学習支援等の活動を行っている団体や地域ケアプラザ等の関係機関、学校、区役所が協力し、地域で行う学習支援等の活動やボランティアのすそ野を広げる活動に取り組みました。

また、高校生の中退防止や高校卒業後の自立支援のため、ハローワーク港北等の関係機関と協力して各種講座を開催しました。

(1) 地域活動ネットワーク支援事業

区内で活動する学習支援活動団体を紹介する資料を作成し、区社会福祉協議会や地域ケアプラザ、学習支援活動団体等に配布しました。また、横浜創英大学と連携し、学習支援ボランティア養成講座を開催しました。

(2) 高校生自立支援事業

困難を抱えた高校生が就学を継続しつつ、将来の自立に向けた一助となるよう、寄り添い型学習支援事業の卒業生や生活困窮世帯の高校生を対象とした「高校生自立支援講座」を開催しました。(全 15 回 延 165 人)

○平成 30 年度「高校生自立支援講座」の主な内容

- ・「はじめてのアルバイト講座」

実施日 4月21日 13人

講師 芳賀 美和氏(ハローワーク港北 就職促進指導官)

他 就労講座 4回

- ・「お金のいろは」

実施日 7月21日 6人

講師 有田 宏美氏(NPO法人 女性自立の会 理事長)

他 マネープランニング講座 2回

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

- ・体験学習「自然公園デイキャンプ」
実施日 8月4日（野島公園） 17人
- ・緑区民まつり 出店企画
実施日 10月21日（四季の森公園） 7人
- ・イベント企画体験「新高校1年生を迎える会」
実施日 3月16日 34人

※参考：緑区寄り添い型学習支援事業（ミドリンベンきょう会）【区配事業】

- 委託法人 特定非営利活動法人 教育支援協会南関東
- 高校進学等
 - ・ 対象者 中学生
 - ・ 会場 十日市場地域ケアプラザ、長津田地域ケアプラザ、中山地域ケアプラザ
 - ・ 事業内容 個別学習支援、相談支援
- 高校中退防止
 - ・ 対象者 寄り添い型学習支援事業の卒業生や生活困窮世帯の高校生
 - ・ 会場 十日市場地域ケアプラザ、長津田地域ケアプラザ、中山地域ケアプラザ
 - ・ 事業内容 居場所の提供、スタッフによる学習指導や相談支援

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

③ みどりの魅力あふれるまち 59,794,008 円

21 緑区制 50 周年準備事業【新規・重点】 3,608,736 円

2019 年 10 月に緑区が区制 50 周年を迎えるにあたり、その機運を盛り上げるため、うちわ等の PR グッズを作成し、広く区民に周知しました。また、緑区制 50 周年記念事業実行委員会で記念事業等の検討を行いました。（第 3 回実行委員会 10 月、第 4 回実行委員会 3 月）

22 緑区制 50 周年お祝いメッセージ配付事業【新規】 388,800 円

人生の節目となる婚姻届・出生届を出された方に、緑区制 50 周年の PR とともに結婚・出産のお祝いを記載したメッセージボードを配付し、区民とともに祝う機運を高めました。
（1 月から配布開始）

○配布実績 婚姻届用 314 枚、出生届用 192 枚（1 月～3 月）

23 身近で親しみやすい水辺環境づくり事業 1,730,160 円

梅田川・岩川沿いに、水辺環境の利用促進と地域防災の啓発を目的とした案内看板設置に向け、デザインの調整を図りました。また、水辺環境の魅力アップを図るため、水辺環境の憩いの中心である梅田川の一本橋めだか広場に休憩施設を整備しました。

（1）一本橋めだか広場での休憩施設整備（梅田川）

水辺環境の魅力アップを図るため、一本橋めだか広場にベンチ等を用意した休憩施設を整備しました。また、緑区制 50 周年を記念するため、50 周年ロゴマーク入りデザインマンホールを当該箇所に設置しました。

（2）沿線案内看板デザイン案の検討・地元調整（梅田川・岩川）

水辺環境の利用促進と地域防災の啓発を図るため、自治会や水辺愛護会と調整して沿線案内看板のデザインを確定しました。

24 魅力ある公園づくり事業 810,000 円

公園利用の利便性の向上を図るため、HP 作成委託を発注し、緑区内の写真サークルの協力を得ながら新しい HP を作成しました。

25 次世代プロジェクト事業 2,112,353 円

次世代に向けた取組として、子どもアドベンチャーの緑区プログラムや、親子向けワークショップイベント「冬のたからものづくり」を開催しました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 冬のたからものづくり

クリスマスやお正月といった冬のイベントに関連した親子で楽しめるワークショップイベント「冬のたからものづくり」を地域活動団体、障害者団体等と連携して開催しました。(12月16日 緑区役所 約750人)

(2) 子どもアドベンチャー

子どもたちが身近な地域でさまざまな社会体験ができるよう教育委員会事務局主催の「子どもアドベンチャー2018」に参加し、区内関係団体や企業と連携して緑区内でのプログラムを実施しました。(延2,594人)

実施日 8月17日(一部プログラムは8月16日)

実施会場 緑区役所、緑公会堂、緑消防署、緑図書館、マクドナルド中山店、森の台雨水調整池、みどりアートパーク

26 みどり！まると応援事業【重点】

3,674,950円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信しました。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力を発信する動画の配信、緑区制50周年に向けた写真展及び自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めました。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」や、自治会等の課題解決に向けた「緑区専門家派遣事業」など、区民の皆様の活動を総合的に応援しました。

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解の促進を図りました。

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作りました。(年6回)

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ホームページ等で定期的に動画を配信することで、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えました。(2本配信 9月、11月)

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信や農家と飲食店との交流会等の実施により、区内におけるよこはま地産地消サポート店登録数を増やし、飲食店の地産地消を進めま

した。

(交流会 6月26日、8月10日、11月1日、2月28日)

(よこはま地産地消サポート店 14店舗 ※平成30年度 新規1店舗)

また、よこはま地産地消サポート店と連携して、区民まつりにPRブースを出展(10月21日)、区内のよこはま地産地消サポート店を巡る「地産地消みどりグルメスタンプラリー」(11月1日～1月31日)を実施しました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピコラムの連載、緑区ホームページやフェイスブック等での情報発信を行いました。

オ 地産地消講座

区内の畑での収穫体験や地産地消の料理教室を実施し、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいました。

- (ア) 親子でじゃがいも掘り体験 (6月3日 17人)
- (イ) トウモロコシの収穫体験 (7月6日 13人)
- (ウ) 収穫体験&クッキング(長ネギ) (11月10日 12人)

(2) みどり！魅力再発見事業

ア 写真展【新規】

緑区制 50 周年事業に対する区民の関心を高めることを目的として、過去に撮影された緑区内の写真あるいは緑区に関連した写真を募集し、現在と比較した今昔写真展を開催しました。(1月～3月、区内7か所)

イ フォトワークショップ

緑区への関心を高めるため、区内小学生向けフォトワークショップを開催しました。(5月12日 東急長津田検車区 24人)

ウ 緑区遺産

(ア) 区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行するほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援しました。

(イ) 緑区遺産を巡るウォーキングイベントを実施し、事業PRの拡大を図りました。

【新規】

- 鴨居コース(11月13日 27人)、長津田コース(11月21日 27人)、三保コース(12月8日 26人、ミドリンウォーキングと連携)

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進しました。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらう一方、所有者に対し奨励金を支払いました。(空き地：27年度から継続1件、空き店舗：30年度新規1件)

なお、空き家・空き店舗を活用した施設には、あわせて環境未来都市推進事業「地域のつながりづくり推進事業」(P.27)より、備品等の整備費助成を行いました。

(4) 緑区専門家派遣事業

「地域の新たな担い手の育成」及び「自治会等の活性化」を目的として、自治会や団体等の要望に基づき、課題の解決を手助けする専門家を派遣する事業です。平成30年度は「みどり地域まちづくり推進事業」(P.19)で執行しました。

27 スマートイルミネーション

4,410,680円

省エネルギーのLED等による光のアート作品を中心としたライトアップイベントの実施により、さまざまな緑区の魅力を顕在化させ、区の魅力発信と地域活性化につなげます。イベントでは、子どもたちが身近なところでアートに触れることができるよう参加型プログラムなどを盛り込みました。

実施にあたっては、本市臨海部の「スマートイルミネーション横浜」とアーティスト及び作品、広報をはじめ、さまざまな面で連携を図る等、一体的に展開しました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

- イベント名称 スマートイルミネーションみどり —なかやま幻影横丁—
あれはマボロシだったのか？
- 実施日程 9月28日・29日 午後6時から午後8時30分まで ※29日は雨天により中止
- 場所 緑新栄会
- 来場者数 約3,500人

28 みどり地域まちづくり推進事業

1,526,164円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施しました。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりを、専門家派遣等により支援しました。

ア 山下地区

- ・山下地区まちづくりニュース年2回発行（11月、3月）
- ・山下地区ささえあいバスの実証運行（3年目）
運行体制の構築及び本格運行に向けた検討、連携協定の締結（3月）
- ・小山町における土地所有者調査（3月）

イ 東本郷地区

- ・東本郷地区まちづくりプランの実現に向けた活動の支援（協議会12回開催）

ウ 十日市場地区

- ・十日市場駅南口広場での「いちば」開催（夏4回、冬3回）
- ・とおかいちばまちづくりスクール開催（12月）

エ 霧が丘地区

- ・霧が丘6丁目まちづくり推進会への専門家派遣（5回）

(2) みどころ案内サイン

既存のみどころ案内サインを点検し、点検結果に基づき改修を行いました。

- ・案内サインの改修7基（3月）

29 読書活動推進事業

300,210円

「横浜市民読書活動推進計画」により、緑区では区の地域性に応じた「緑区読書活動推進目標」を策定しました。これに基づき、子どもから大人まで、多くの方が本とふれあい、読書を楽しめるよう、取組を進めました。

(1) 本に親しむ環境づくり

- ア 身近にある図書施設がわかる「読書まっぷ」の配布（通年）
- イ 乳幼児健診等で絵本チラシの配布（通年）
- ウ 区内地区センターで絵本セット貸出（通年）
- エ 緑図書館でCDブックの貸出（通年）
- オ 「まちライブラリー」の開設（5月14日～ 区内郵便局10か所）
- カ 青少年向けビブリオバトル開催【新規】
（7月25日 県立霧が丘高校 中学生5校15人、高校生3校10人 計25人）
- キ 緑区民まつりに「本の交換会」出店（10月21日）

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

ク 読書活動推進に向けたトークショーの開催（11月17日 緑区市民活動支援センター「みどりーむ」 29人）

「なぜ本屋大賞は、日本一の文学賞になったのか」

ケ 中高生向け文章術講座の開催【新規】

（11月23日 緑区役所 中学生19人、高校生10人 計29人）

講師 坪田知己氏（元日経新聞社勤務）

（2）家庭・学校・地域での読書活動推進

区内読書関連施設との読書活動推進連絡会の開催（7月11日、2月19日）

（3）ボランティアの育成と地域のつながりづくり

小学校や地区センター等で活動するボランティアの支援（通年）

30 子ども達の夢の緑区推進事業

1,191,551円

平成21年の緑区制40周年を記念して区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿「夢みどり50プラン」の実現に向けて、50プランに描かれた7つの「ねがい」に基づき、小・中学校と連携して取組を進めました。特に今年度は、緑区制50周年に向けた具体的な取組及び50プランが将来に向けてどのようにつながっていくかを小・中学校と共に考えました。

（1）学校の取組支援事業

ア 中学校ブロック会議の内容を各校で持ち帰り共有してもらい、各学校での取組を支援しました。（6月～7月 各中学校）

イ 小中学校と連携し、子どもたちの地元への愛着を育むことを目的として「地域の魅力まっぷ」を作成しました。（3月）【新規】

（2）ふれあい交流事業

区民まつりに携わる小中学生ボランティアを一般公募し、地域の人とのふれあいやボランティア活動を実践する場を提供しました。（10月21日 県立四季の森公園 42人）

31 緑・芸術文化事業

1,886,801円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供に取り組みました。また、緑区制50周年を見据え、区内芸術文化団体・機関と連携した取組を進めました。

（1）緑・芸術祭事業

ア 区内芸術文化団体に対する支援

（ア）「音楽の贈りもの」（6月13日 緑区役所）

（イ）「音楽の贈りものスペシャル」（3月3日 緑区民文化センター 307人）

（ウ）山田和樹氏と東京混声合唱団との共演に向けた緑区制50周年記念中学生合唱団オーディション【新規】（2月23日 緑公会堂 44人参加・合格）

（エ）「緑区コーラスのつどい」（10月28日 緑公会堂 16団体）

（オ）「創造と森の声2018」（5～9月 横浜動物の森公園 植物公園予定地ほか）

イ 区が主催する事業

「サークルミニギャラリー」（年8回 緑区役所）

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

- ウ 緑区民文化センターとの連携事業
緑区役所お昼のロビーコンサート
(5月30日、10月24日、12月19日、3月13日 緑区役所)
- エ 公募事業に対する支援(18事業 通年)

(2) 交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の発掘・交流を図るために、「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をしました。
(音楽2事業、工芸1事業、ダンス1事業 計4事業 緑区役所)

32 3R推進事業

1,844,227円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開しました。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催(5月17日 緑区役所)

(2) 3Rの普及・啓発

- ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催(13回)
- イ 店頭キャンペーン(6月28日、7月31日、11月15日、11月21日)
- ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発(15回)
- エ 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発(広報よこはま 緑区版8月号掲載)
- オ 緑ECO通信の自治会班回覧(7月特別号、2月特別号)
- カ 転入者向け啓発・分別相談(原則として毎週水曜日 緑区役所)
- キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理
(ゆずります 97件中 57件譲渡、ゆずってください 19件中 7件譲渡)

(3) リユース食器の利用・促進

リユース食器利用促進補助金の交付(レンタル3件)

33 きれいなまちづくり事業

5,000,471円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開しました。

(1) 花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽(5月12日・24日、11月10日・19日)

(2) 地域ふれあい活動事業

- ア 地域清掃活動団体への支援(ごみ処理 1,241回 256.1t、ごみ袋配布 26,050枚)
- イ 不法投棄対応(275件、13.13t)

(3) 駅さわやか活動事業

- ア 美化推進重点地区(中山駅、十日市場駅周辺)及び区庁舎周辺の清潔保持
 - (ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃を実施
(5月25日、11月19日)
 - (イ) 十日市場駅周辺における美化推進員の活動支援(142日活動)
 - (ウ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃(8月、12月を除く毎月第4金曜日)

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

- イ ポイ捨て、歩きたばこ禁止の啓発【新規】
収集車貼付用マグネットシート作成（6月から貼付）
- ウ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催（年6回）
中山駅（年2回 5月25日、11月30日）周辺早朝清掃と同時実施
長津田駅（6月27日） 鴨居駅（6月28日） 十日市場駅（6月29日、11月19日）
- エ 美化推進重点地区の清掃委託（中山駅周辺 103回、十日市場駅周辺 102回）

34 足を運んでみよう！商店街事業

801,283 円

誰でも気軽に参加することができ、普段足を運ばないまた運ぶ機会がない消費者にも、区内の商店街を巡っていただき地元の商店街の魅力を再発見してもらえるよう、区内7商店街が一体となった「緑区商店街ポイントラリー」をより多くの区民が参加できるように開催期間を1週間に延ばして開催しました。

- 開催日程 11月10日(土)から16日(金)まで
- 参加店舗数 53店舗
- 参加者数 287人

35 区民まつり事業

4,900,000 円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代の参加する「緑区民まつり」を実施しました。

- 開催日 10月21日
- 会場 県立四季の森公園（来場者数 30,000人）
- 参加団体 全79団体
- 実施内容

ステージイベント 計12団体（内訳：各地区連合推薦9団体、公募3団体）

区民発表を主としたステージを実施しました。

サブイベント・出店 計67団体（内訳：出店59団体、サブイベント8団体）

参加型イベントや集客力のある催しもの、及び各種団体の活動PR、啓発活動、飲食や物品の販売等の出店を行いました。

3R環境行動の取組・普及啓発に関する出店・各種イベントを実施しました。

36 地域振興事業

1,942,969 円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切にし、地域との良好な関係を構築しました。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰しました。

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長 5 年在職者を区長から表彰しました。(3月8日)
なお、10 年以上在職している自治会長(以降 5 年ごと)については、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰しました。(2月14日)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付しました。

(3) 自治会加入促進の支援

加入促進支援の対象自治会として、十日市場団地連合自治会を選定し、加入促進のチラシを十日市場団地連合自治会が全戸配布しました。

37 消費生活推進事業

941,974 円

市民の安全で快適な消費生活の実現に向けて、消費生活に関する知識を深めるため、横浜市消費生活条例に基づく消費生活推進員の各地区での活動を支援しました。

(1) 地区活動助成金

各地区で悪質商法や消費生活に関する勉強会や講座などを開催するための助成金を交付しました。

(2) 区自主活動

ア 情報共有と意見交換のため、定期的に地区代表会議を開催(年 10 回)

イ 消費生活推進員の知識を深め、地区活動内容の充実を図るための研修会を実施

ウ 経済局主催の入門編研修(6月8日)、応用編研修(6月28日)への参加

エ 横浜市消費生活総合センターと協力して消費生活教室「冷凍食品の基礎知識と安全性」の開催(2月21日 緑公会堂 240人)

オ 「区民まつり」に出店し、クイズ形式で悪質商法に関する啓発、廃棄品再利用の工作等の実施(10月21日)

カ 「衣類のリユース」の実施

・6月2日 緑区役所 子ども服対象 回収 101人、譲渡 170人、

・11月17日 緑区役所 子ども服対象 回収 139人、譲渡 165人

キ 消費生活推進員ニュースの発行

地域へ消費生活推進員の活動を周知するためニュースを発行(3月)

38 市民活動パワーアップ支援事業

2,654,320 円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会(5つの部会で構成)との協働により区民主体で区制 50 周年を見据えた取組となる事業を企画・実施しました。

また、みどり一む開設 10 周年を契機として発足した、未来のみどり一むを考える「みどり一むネクスト」における新たな取組を進めました。

(1) 市民活動セミナー等の開催

ア 市民活動セミナー(11月6日・20日 15人)

イ 地域福祉セミナー(2月8日 50人)

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

- ウ 防災・減災講座（10月28日 32人、2月3日 27人）
- エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座（8月17日・18日 805人）

（2）市民活動団体交流事業の開催

- ア Open!みどり一む（7月21日 約30人、10月19日 30人、2月22日 43人）
- イ みどり市民活動交流会（9月9日 122人）
- ウ みどり一むまつり（3月9日・10日 約1,000人）
- エ サロンふらっと（毎月第3日曜日 毎回約30人）

（3）地域の国際交流事業の開催

- ア 国際交流イベント
資源選別センター見学（9月6日 25人）
日本語発表会（10月6日 発表者5か国11人 参加者69人）
- イ 日本語ボランティア養成講座 入門編
（5回講座 7月13日・20日・27日、8月3日・10日 19人）
※講座終了後、長津田日本語教室立ち上げ
- ウ ウェルカムキットの配布（戸籍課で通年配布 404セット）

（4）生涯学級及び家庭教育学級事業の開催

- 生涯学級4講座、家庭教育学級1講座実施
- ア 「横浜線ものがたり」6回講座（4月～6月 公開講座62人、連続32人）
- イ 「自然を楽しむ講座」5回講座（4月～5月 22人）
- ウ 「地域デビュー講座」5回講座（10月～11月 6人）
- エ 「地域活動支援講座」4回講座（2月～3月 9人）
- オ 家庭教育学級「イキイキおかあさん」5回講座（10～11月 10人）

（5）緑区地域施設間連携会議

- ア 緑区地域施設間連携会議（5月30日 25施設 30人、8月30日 14施設 18人）
- イ 施設間連携スタンプラリーの実施【新規】（11月1日～12月25日 19施設）

（6）パソコン相談コーナーの運営

- ア 「めだかの学校」の設置・運営
（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土）910人
- イ パソコン初心者対象の講習会「めだか塾」の開催（毎月4回）112人

（7）IT講習会の開催

- ワード講習、エクセル講習等（年6回 地区センター）118人

39 みどリスポーツ振興事業

3,569,253円

区民の健康づくりとスポーツの盛んなまちづくりが一層進むよう、地域スポーツ関係団体の取組支援、区民が身近で気軽にスポーツを楽しめるイベント等を開催しました。

また、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」を緑区から盛り上げ、緑区制50周年と連動した事業を展開しました。

（1）緑区スポーツ推進委員事業

- 緑区のスポーツ推進委員の活動支援（通年）

（2）緑区体育協会事業

- 加盟する各団体等（16団体、3関連団体）の各種大会、振興活動の支援（通年）

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

(3) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区体育協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（6月24日 緑スポーツセンター 686人）

(4) ラグビーワールドカップ・オリンピック・パラリンピック推進事業

ア 「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を見据え、市民が新たなスポーツに触れる機会や実際のトップ選手との交流ができるようなイベントの実施（年3回）

(ア) 「ラグビー体験イベント」（12月2日 緑スポーツセンター 60人）

(イ) 「人権啓発講演会「共に生きる 写真で紡ぐ希望～フォトジャーナリスト安田菜津紀が出会った世界～」」（12月4日 緑公会堂 303人）

(ウ) 「バドミントンレクチャー！」（1月12日 緑スポーツセンター 74人）

イ 緑区ランニングフェスタ2018の開催（12月24日 ミツ沢公園陸上競技場 58人）

ウ 横浜 DeNA ベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル
（11月24日 横浜スタジアム 123人）

40 区民への情報提供事業

7,446,588円

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるとともに、緑区への興味・理解を深めてもらうため、広報よこはまやホームページなどを活用し、さまざまな広報活動を実施しました。

(1) 広報よこはま みどり区版の発行（毎月 69,000部）

(2) 広報スキルアップ研修 「チラシや広報物の作り方講座」の実施

横浜市職員（緑区・他区）及び緑区内区民利用施設職員向け（5月31日 36人）

(3) みどり区ガイド・防災マップの発行（15,000部）

41 区民の声把握事業

2,022,592円

区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するために、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握しました。

(1) 緑区役所意見箱の運営（通年）

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図りました。（37件）

(2) 特別相談（法律相談、税務相談、司法書士相談等）

ア 法律相談（第1・3月曜（8、12月を除く）、毎週金曜） 396件

イ 税務相談（偶数月第2火曜） 30件

ウ 司法書士相談（第2月曜） 72件

(3) 「ふれ愛♡トーク」の開催

緑区内で活躍している団体等と区長が懇談し、具体的な活動内容や思いについて、広報やホームページ等で紹介しました。

第1回 夫婦坂公園愛護会（10月3日）

第2回 緑区保健活動推進員会（12月4日）

第3回 霧が丘インターナショナルコミュニティ（KIC）（12月22日）

平成 30 年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業【決算】

42 区民から親しまれる区役所づくり事業

7,029,926 円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施しました。

また、「緑区長表彰」制度に基づき、文化、スポーツ、芸術などにおいて功績のあった区民・団体に区長賞を贈呈しました。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する接遇向上研修を実施し、スキルの向上を図りました。(10、11月)

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施しました。(12月4日、緑公会堂 303人)

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図りました。(通年)

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、緑区長賞を贈呈しました。(3人)

(4) 緊急的課題への対応

来庁する区民の皆様にご快適に過ごしていただけるよう、庁舎の美化・緑化や窓口環境の整備などを行うとともに、緊急的課題等に対応しました。(随時)

環境未来都市推進事業

1,000,000 円

地域のつながりづくり推進事業

1,000,000 円

自治会等の地域団体が、空き家、空き店舗を活用して、地域福祉保健計画地区別計画や地域が自ら策定した計画等に基づいて地域で取り組まれている各種活動の拠点やサロン・カフェといった住民が気軽に立ち寄れるスペースを設置する際に、必要な備品等の整備にかかる費用を助成しました。

また、前述の自主企画事業「地域のつながり施設設置事業」(P.18)により、地域団体の設置場所確保を支援し、拠点等の設置を促進しました。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和元年度 個性ある区づくり推進費 事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R1予算	H30予算	増△減	所管課	ページ
自主企画事業							
① 安全・安心なまち			13,615	13,476	139		
1	災害に強いまちづくり事業	重点	7,410	7,587	△ 177	総務課・福祉保健課	4
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,760	1,430	330	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		2,696	2,700	△ 4	地域振興課	5
4	暮らしの衛生推進事業		1,749	1,759	△ 10	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			24,450	21,087	3,363		
5	健康たうん・みどり推進事業		2,930	3,115	△ 185	福祉保健課	8
6	みどり食育実践推進事業		1,609	1,109	500	福祉保健課	8
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		5,414	2,296	3,118	福祉保健課	9
8	あんしん子育てネットワーク事業		7,533	7,327	206	こども家庭支援課	10
9	保育所すこやか子育て支援事業	重点	2,721	2,243	478	こども家庭支援課	11
10	DV対策・児童虐待防止事業		745	845	△ 100	こども家庭支援課	12
11	中学生等キャンパスチャレンジ事業		35	70	△ 35	こども家庭支援課	12
12	青少年地域サポート事業	一部移行	859	859	0	地域振興課	12
13	高齢者生きがい推進事業		432	432	0	高齢・障害支援課	13
14	地域のささえ愛事業		449	420	29	高齢・障害支援課	13
15	高齢者あんしんサポート推進事業		578	353	225	高齢・障害支援課	13
16	障害者自主製品販売支援事業		545	415	130	高齢・障害支援課	14
17	高校生等自立支援事業 【前年度:子どもの自立を支える地域ネットワーク事業】		600	600	0	生活支援課	14
△	緑区ふれあいあんしん推進事業	終了	0	503	△ 503	福祉保健課	-
△	福祉保健データ集作成事業	終了	0	500	△ 500	福祉保健課/高齢・障害支援課	-
△	学校・家庭・地域連携事業	移行	-	-	-	こども家庭支援課	-
③ みどりの魅力あふれるまち			59,808	46,193	13,615		
18	緑区制50周年記念事業 【前年度:緑区制50周年準備事業】	重点	12,532	3,500	9,032	区政推進課	16
19	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業		700	700	0	戸籍課	16
20	住み続けたいふるさと緑区事業	新規・重点	11,000	0	11,000	土木事務所	16
21	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業 【前年度:親しまれる水辺環境づくり事業】		2,340	2,000	340	土木事務所	17
22	魅力ある公園づくり事業		450	900	△ 450	土木事務所	17
23	みどり!まるごと応援事業		3,415	4,833	△ 1,418	区政推進課	17
24	みどり地域まちづくり推進事業		1,928	1,730	198	区政推進課	19
25	読書活動推進事業		300	300	0	地域振興課	19
26	子ども達の夢の緑区推進事業		1,314	1,314	0	地域振興課	20
27	緑・芸術文化事業		2,523	1,923	600	地域振興課	20
28	3R推進事業		2,146	1,850	296	地域振興課	21
29	きれいなまちづくり事業	一部移行	2,151	2,572	△ 421	地域振興課	21
30	足を運んでみよう!商店街事業		1,308	500	808	地域振興課	22
31	区民まつり事業		4,900	4,900	0	地域振興課	22
32	地域振興事業		1,935	1,935	0	地域振興課	23
33	市民活動パワーアップ支援事業		2,872	2,868	4	地域振興課	23
34	みどりスポーツ振興事業	一部移行	1,981	1,846	135	地域振興課	24
35	広報・広聴事業 【前年度:区民への情報提供事業】	一部移行	1,881	1,796	85	区政推進課	24
36	区民から親しまれる区役所づくり事業		4,132	3,488	644	総務課	25
△	次世代プロジェクト	終了	0	2,653	△ 2,653	区政推進課	-
△	スマートイルミネーション	終了	0	4,500	△ 4,500	区政推進課	-
△	区民の声把握事業 ※統合事業費に一部移行	終了	0	85	△ 85	区政推進課	-
△	消費生活推進事業	移行	-	-	-	地域振興課	-
△	統合事業費移行分		-	16,052	△ 16,052		
自主企画事業費 計			97,873	96,808	1,065		
SDGs未来都市推進事業							
	SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業		1,000	1,000	0	区政推進課	26

「一部移行」、「移行」は統合事業費へ

令和元年度 個性ある区づくり推進費 予算
総括表

[単位：千円]

区 分	R1予算	H30予算	増△減
1 自主企画事業 (36事業)	97,873	96,808	1,065
(1) 安全・安心なまち (4事業)	13,615	13,476	139
(2) いきいき暮らせるまち (13事業)	24,450	21,087	3,363
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	59,808	46,193	13,615
(うち統合事業費移行分)	-	16,052	△ 16,052
【重点政策事業】 4事業 総額 33,663千円			
◆災害に強いまちづくり事業 * (1) で計上	7,410千円		
◆保育所すこやか子育て支援事業 * (2) で計上	2,721千円		
◆緑区制50周年記念事業 * (3) で計上	12,532千円		
◆住み続けたいふるさと緑区事業 * (3) で計上	11,000千円		
2 統合事務事業費	43,310	23,958	19,352
(1) 統合事務費	23,878	23,958	△ 80
(2) 統合事業費	19,432	0	19,432
3 区庁舎・区民利用施設管理費	570,046	571,722	△ 1,676
(1) 区庁舎等	98,013	107,903	△ 9,890
(2) 地区センター等	418,082	413,147	4,935
(3) 公会堂	41,499	39,337	2,162
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	6,347	5,230	1,117
(5) その他(広場・遊び場)	6,105	6,105	0
4 SDGs未来都市推進事業	1,000	1,000	0
SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業	1,000	1,000	0
合 計	712,229	693,488	18,741

【参考】緑区制50周年事業一覧

会議資料の該当事業に **50** マークを付けています。

[単位:千円]

No.	事業名	細目事業等(33事業)	金額
18	緑区制50周年記念事業	参加型アートイベント「わらアート(仮称)」 子どものまちづくりイベント 緑区制50周年記念誌事業 50周年PR関連費 緑区制50周年記念事業実行委員会	12,532
19	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業	記念品作成	700
20	住み続けたいふるさと緑区事業	ふるさと緑区壁画事業 ふるさと緑区植樹事業 ふるさと緑区デザインマンホール設置事業	11,000
緑区制50周年事業 小計			24,232
2	安全・安心まちづくり推進事業	親子で防犯ワークショップ開催支援	330
5	健康たうん・みどり推進事業	健康づくり月間事業 思いやり健康づくりの日 ミドリンウォーキング	1,492
6	みどり食育実践推進事業	食育月間キャンペーン	480
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業	地域福祉保健計画推進事業	601
9	保育所すこやか子育て支援事業	あつまれ！みどりっこまつり	956
16	障害者自主製品販売促進支援事業	商品の魅力アップや新製品の開発検討 共同販売の推進	95
23	みどり！まるごと応援事業	みどり！魅力再発見事業	621
26	子ども達の夢の緑区推進事業	学校の取組支援事業 ふれあい交流事業	1,314
27	緑・芸術文化事業	地域文化振興	2,410
30	足を運んでみよう！商店街事業	緑区商店街ポイントラリー	1,308
31	区民まつり事業	区民まつり	4,900
33	市民活動パワーアップ支援事業	市民活動セミナー等の開催 市民活動団体交流事業の開催 地域の国際交流事業の開催 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催 緑区地域施設間連携会議	1,925
34	みどりスポーツ振興事業	ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピック連携事業	670
36	区民から親しまれる区役所づくり事業	人権啓発・職員研修事業 緑区表彰事業 ミドリン商標登録	1,115
緑区制50周年関連事業 小計			18,217
合 計			42,449

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 13,615千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点】 7,410千円

災害に迅速かつ的確に対応できる体制を強化するとともに、行政・地域・団体等が連携し、地震、風水害等の危機に対して日頃から地域や個人で備える取組を推進することにより、緑区全体の危機管理能力を高め、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害時に円滑に行動できるよう区本部運営訓練の実施（1月）
- イ 災害対策本部用の食糧等の購入による計画的な備蓄の実施（1月）
- ウ 災害対策本部の運営や避難所の対応強化にかかる投光器等の必要備品の拡充（7月）
- エ 区職員に対する救命講習を実施することによる緊急時の応急救護体制の確保（10月）
- オ 大地震及び風水害発生時に区役所が迅速に対応できるよう防災研修会の実施（6月5日・6日、9月）

(2) 地域防災拠点強化事業

- ア 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点、7月、2月の年2回）
- イ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習（依頼3件 7月末現在）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施（3月7日 緑公会堂）
講師 気象キャスター・防災士 平井 信之氏
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月19日 緑区役所 21人）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月30日 24人）
- エ 防災ライセンスネットワーク会員へ救命講習（上級）実施（10月29日、11月28日）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 小中学生等を対象とした啓発事業の実施（1校実施 7月末現在）
- ウ 地域や学校等を対象とした災害図上訓練（Dig・HUG訓練）の実施
- エ 区民祭りでの防災・減災ブースの出店（10月20日）

(5) 災害時要援護者支援事業補助金事業

災害時要援護者支援を行う団体に対する補助金の交付（申請6団体）

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練及び研修の実施（9月1日 田奈中学校、緑区役所）
- イ 災害時医療のぼり旗掲出訓練の実施（10月）
- ウ 保健活動グループの訓練の実施（11月3日 十日市場小学校、十日市場中学校）

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

2 安全・安心まちづくり推進事業 1,760千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月20日）

イ 活動内容

(ア) 防犯パトロール物品等の提供

(イ) 啓発活動

a 振り込め詐欺防止等キャンペーン（駅頭キャンペーン（6月13日中山駅）、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等）

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(2) 地域防犯の強化

自治会や関係団体の防犯担当者を対象に防犯リーダー養成講座を開催（11月）

(3) 子どもの安全・安心【新規】 **50**

親子で学べる、子ども向け防犯ワークショップを希望する地域（地区連合単位）で開催（9月～3月）

(4) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで毎日配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

2,696千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月17日）

イ 幹事会の開催（5月23日、8月19日、11月1日、2月18日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

(ア) 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4月5日 中山駅）

(イ) 春の全国交通安全運動（5月10日 十日市場駅）

(ウ) 交通事故死ゼロを目指す日（5月17日 十日市場駅、9月30日 中山駅）

(エ) 夏の交通事故防止運動（7月11日 鴨居駅）

(オ) 秋の全国交通安全運動・区民大会（9月20日 緑公会堂）

(カ) 年末の交通事故防止運動（12月11日 長津田駅）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

(ア) 駅前及び交差点での啓発（5月17日 十日市場駅、3月）

(イ) 登校時の高校生への啓発

（5月23日 霧が丘高校、5月29日 白山高校（雨天により中止））

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(ウ) 自転車駐車で啓発（6月24日 中山駅南口第二自転車駐車場（雨天により中止）、6月25日 十日市場駅北口自転車駐車場、6月26日 鴨居駅南口第二・第五自転車駐車場、6月27日 長津田駅北口第三自転車駐車場）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

(ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催

(6月3日、8月29日、11月7日、2月27日)

(イ) 高齢者向け交通安全教育（交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月23日）

イ 児童交通安全教育・対策

はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施

(6月11日 長津田第二小学校、6月14日 竹山小学校、

6月18日 長津田小学校、6月19日 十日市場小学校)

ウ スクールゾーン対策

(ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月24日 緑区役所）

(イ) スクールゾーン対策協議会への助成

(ウ) 電柱巻標識、路面標示の新設・補修

(エ) 横断旗等の配布（2月）

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催（7月10日 十日市場駅、7月23日 長津田駅、7月30日 鴨居駅、8月2日 中山駅）

イ クリーンキャンペーンの実施（10月3日 長津田駅、10月4日 十日市場駅、10月10日 鴨居駅、10月24日 中山駅）

4 暮らしの衛生推進事業

1,749千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店、小学校給食等の営業者・調理従事者に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施

緑区制50周年食中毒予防啓発コースターの配布（6月から）、食中毒予防キャンペーン（8月6日 アピタ長津田店 939人）、区民食品衛生講座（11月7日）

ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施（10月）

エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月）

(2) 人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月10日・17日）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 安心・快適なくらし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

スズメバチをはじめとした危険な昆虫等の注意喚起講座の開催

(8月9日 緑ほのぼの荘 33人)

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催(6月30日 緑区役所 18人)

講師: 緑区獣医師会 越久田 健(おくだ けん)氏

(ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施やペット用非常持出品等の展示・紹介及び緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発

(エ) ペット同行避難啓発クリアファイルの作成、配布(5月)

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち

24,450千円

5 健康たうん・みどり推進事業

2,930千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業 **50**

ア 健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月20日）

イ 区医師会と共催で健康をテーマとした講演会を実施（10月12日 緑公会堂）

講師 プロフィギュアスケーター 鈴木 明子氏

「ひとつひとつ。少しずつ。～自分らしく前へすすむ～」

(2) 思いやり健康づくりの日事業 **50**

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施

（全9回のうち4回実施 延763人）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（全6回のうち3回実施 延71人）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援（全8回のうち1回実施 149人）

(4) 緑をたっぷり召し上がれ事業

ア 食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施

（6月22日 延474人、7月25日 延105人、12月7日、2月13日）

イ 区民まつり等既存事業の中で、野菜摂取状況に関する簡易アンケート調査を実施

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

健康習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場において、生活習慣病予防に向けた動機づけを図るための講座を実施（4回のうち1回実施 子育て支援拠点 50人）

(6) ミドリウォーキング事業 **50**

ア 地域活動団体等と連携したウォーキングを推進するための各種イベントの実施

（ア）全区イベント（12月7日）

（イ）地域イベント（5月15日 30人、9月20日、2月18日）

イ ウォーキング関連情報を掲載したウォーキングマップを増刷、配布

6 みどり食育実践推進事業

1,609千円

区民の健康寿命の延伸を目指し、さまざまなライフステージにある区民が、世代にあった「食」に関する正しい知識を持ち、健全な「食」を選択し実践できるよう、食育イベントや体験型食育講座を実施します。

(1) 食育月間キャンペーン **50**

食育月間に合わせ、地域関係団体、学校、企業等と広く連携し、食育講演会及び関連イベントを実施するとともに、緑区制50周年及び食生活等改善推進員会50周年を踏まえ、協働で食育啓発キャンペーンを実施

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- ア 食育講演会（6月22日 緑公会堂 110人）
講師 黒谷 佳代氏（博士（医学）、管理栄養士）
「今こそ見つめなおそう 次世代につなぐ“食の力”」
 - イ 食育関連イベント（6月22日 緑区役所 延 669人）
体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯みがき相談、健康チェック、
地場野菜の販売ほか
- (2) 食事診断システムを活用した体験型食育講座**
フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座や、各種イベント等
を活用した幅広い対象者向けの食育啓発講座を実施
- ア 学校と連携した子ども向け講座の実施
 - イ 生活困窮者等を対象に生活習慣病予防のための講座を実施
（6月29日 十日市場地域ケアプラザ 8人）
 - ウ 企業等と連携し、働き世代等の若年者を対象とした講座を実施
 - エ 地域関係団体及び関係機関向け操作説明会を実施（2回）
 - オ その他（他区への貸出 1回、地域への貸出 1回）

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

5,414千円

身近な地域で誰もが安心して暮らしつづけられるよう、共に支えあい、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進するとともに、第4期計画の策定準備も行います。

元年度は、第3期計画（1期5か年）の4年目となることから、第3期計画の振り返りと区民アンケート、関係団体ヒアリング等を行いながら、次期（第4期／2021～2025）計画素案の作成を行います。

また、「緑区の地域福祉保健」をテーマに、緑区制50周年にあわせた記念講演を開催し、福祉の分野でも緑区制50周年を盛り上げていくとともに、第4期計画策定に向けた機運を高めます。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

- ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進・策定委員会の開催（6月11日、12月、3月）
- イ 地区別計画推進・策定委員会の開催（11地区）
各地区2回以上開催（6月以降1回、10月以降1回、他随時）
- ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月13日）
- エ 地区別計画の推進のための事業の実施
- オ 区域計画重点テーマに係る活動発表会（区社会福祉大会において実施）
- カ 第4期計画策定に向けた区民アンケート（4,500人／無作為抽出）、統計基礎資料の作成及び団体ヒアリング（約100団体）の実施

(2) 「みどりのわ・ささえ愛プラン」講演会 **50**

歌手の大島花子氏（故・坂本九氏の長女、東洋英和女学院大学出身）を招き、家族の絆や人と人のつながりの大切さ、命の貴さ、そして、次世代につなぐものをテーマに、地域福祉の意義を共感する講演会（トーク&ライブ）を開催しました。

また、当日は会場のロビーで、11地区ごとの「みどりのわ・ささえ愛プラン」に関するこれまでの取組をまとめたポスターセッションを行いました。（7月4日 緑公会堂 398人）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 民生委員見守り訪問事業

ひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守り体制を充実するため、民生委員・児童委員による安否確認及び訪問を通じて、地域のイベント等の情報提供を行います。

具体的には、民生委員・児童委員が定期的に電話をかけて安否確認等を行う「ふれあいコール」に対する助成を行います。(30年度末時点の登録者数 79人)

8 あんしん子育てネットワーク事業

7,533 千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜・日曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。

(区内の地域ケアプラザ3か所で6回のうち2か所で2回実施 68人、緑区役所6回のうち2回実施 108人 7月末現在)

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。

(14か所の会場で各9回 計126回のうち44回実施 1,104人 7月末現在)

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。

(1日コース9回、2日コース3回実施のうち1回実施 15組30人 7月末現在)

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。(個別相談 年15回のうち5回実施 9件 7月末現在、スーパーバイズカンファレンス 年2回)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。(申請4団体)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。(3月)

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット
区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所、幼稚園、小中学校等に配布します。(7月)
- エ 「みどりっ子カレンダー」
子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。(毎月)
- オ 保育施設のご案内
利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内を発行します。(5月、10月 5,000部)
- カ 保育所等利用者説明会・個別相談会
保育施設、幼稚園を中心とした説明会・個別相談会を実施します。
(10月24・25日 緑区役所)
- キ 乳幼児健診情報提供
乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。
- ク 放課後3事業情報提供
放課後児童クラブ、放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクールの事業やそれぞれのクラブを紹介するチラシを作成します。

9 保育所すこやか子育て支援事業【重点】

2,721千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ!みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。元年度は参加型イベントを拡充して開催し、次世代を担う子どもたちと緑区制50周年をお祝いします。

(1) ネットワーク事業

- ア あつまれ!みどりっこまつり **50**
未就学児とその保護者を対象に、手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できるプログラムを公立園と民間園が共に作り上げ、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。
区役所会場に集約し、参加型イベントを拡充して開催します。(11月16日)
- イ 赤ちゃんの駅事業
授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。
- ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会
地域の子育て支援事業実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有することで、地域子育て支援の充実を図ります。

(2) 市立保育所での育児支援事業

- ア 保育アドバイザー(保育士)派遣事業
地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出や、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 園庭開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の園庭開放を実施し、曜日を問わない子育て支援を行います。

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

10 DV対策・児童虐待防止事業

745千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（毎月1回）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修
(5月16日、11月)

11 中学生等キャンパスチャレンジ事業

35千円

次世代を担う自立した青少年を育成するため、区内及び市内大学等との協働により、通常の教育課程では得られにくい学習や体験機会を中学生等に提供します。

12 青少年地域サポート事業

859千円

地域が大切に育んできた次世代を担う青少年を、より一層健やかに育てる環境づくりや取組推進に向けて地域における青少年健全育成の担い手である区内市民活動団体等による青少年育成活動支援を実施します。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援（4事業）

(2) 青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

13 高齢者生きがい推進事業

432 千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月6日）

イ 囲碁・将棋大会（12月6日）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

14 地域のささえ愛事業

449 千円

高齢者や障害者の社会参加を促進するため、緑区社会福祉協議会が独自に行っている、地域の高齢者・障害者が外出する際の移送活動を支援します。

15 高齢者あんしんサポート推進事業

578 千円

認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、警察及び地域包括支援センター等関係機関と連携し、認知症高齢者等SOSネットワーク事業の充実を図るとともに、認知症サポーターを増やすことにより地域のネットワークづくりを進めます。

また、被虐待高齢者を保護する際、特別養護老人ホームなどへ緊急保護を行うにあたり必要となる日用品や通院手段を確保します。さらに、介護予防の観点から高齢者の日常的な外出を促進するため、地域と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

(1) 認知症高齢者等サポート事業

日頃の生活での見守り支援が充実し、認知症高齢者等の行方不明発生時にも見つけやすい地域づくりなどの支援体制を強化します。

また、既存の事業では適用範囲となっていない移送費や日用品費について、虐待や認知症等であることを理由に高齢者を緊急保護する際に一時的に支援します。

ア 認知症高齢者等SOSネットワークへの登録促進

各種講演会等での登録事業の周知

イ 認知症サポーター養成の推進

養成講座の実施支援、認知症キャラバン・メイトのつどい（6月4日 26人、

11月5日）

ウ 認知症のある方や家族に対する支援体制づくり

（介護保険事業所連絡会4か所、地域包括支援センターにおけるケア会議7か所、認知症初期集中支援検討委員会）

エ 在宅高齢者緊急サポート事業

虐待や認知症等であることを理由に緊急保護する際の一時的な費用の支援をします。

(2) 高齢者外出促進事業

高齢者の外出促進に寄与する情報を集約して作成したリーフレットを活用し、地元自治会と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

16 障害者自主製品販売支援事業

545 千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいがづくりの場を充実するとともに、区民の障害への理解を促進します。

(1) 障害者通所施設のネットワーク強化

区内の自主製品販売を行っている施設が集まる場として立ち上げた「日中活動連絡会」を施設とともに開催します。各施設の要望に沿ったテーマについて情報交換や共有を行い、施設間の連携強化を図りつつ、主体的な運営を促します。

(連絡会の開催 7月5日、10月、1月)

(2) 商品の魅力アップや新製品の開発支援 **50**

引き続き外部アドバイザーとともに意見交換を行い、商品の魅力アップや商品カタログの作成、緑区オリジナル製品の開発を支援します。

(3) 共同販売の推進 **50**

障害者への区民の理解を促進するために、共同販売の場の設定や販路の拡大支援を行います。また、集客力を高めるため、施設とともに販売促進につながるグッズを作成します。

さらに、緑区制50周年に合わせて、障害者週間での共同販売イベントや、障害者の作品展示などを拡大して行います。

17 高校生等自立支援事業

600 千円

【前年度：子どもの自立を支える地域ネットワーク事業】

家庭の経済的な問題等により、学習知識や社会経験が不足している高校生等に対し、緑区寄り添い型学習支援事業と連携しながら、将来の就職・進学等の自立に向け、知識や経験を習得してもらうことを目的とした講座を開催します。

(1) 高校生等自立支援講座の開催

経済的に困窮し困難を抱える、生活保護世帯や生活困窮世帯の高校生等を対象に、子どもたちが就学を継続しつつ、将来の自立に向けた一助となるよう、就労や消費活動の知識習得の他、さまざまな体験を得るための「高校生等自立支援講座」を開催します。

○「高校生自立支援講座」の主な内容

- ・就労講座「アルバイトなんでも相談室」（4月20日 6人）
講師 浅井 陽子氏（ハローワーク港北 就職促進指導官）
- ・マネープランニング講座「お金のいろは」（7月20日 4人）
講師 有田 宏美氏（NPO法人 女性自立の会理事長）
- ・体験学習「野外活動体験」（8月19日）
- ・緑区民まつり出店企画（10月20日） 他 全15回

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

※参考【区配事業】

緑区寄り添い型学習支援事業（ミドリンベンきょう会）

- 委託法人 特定非営利活動法人 教育支援協会南関東
- 高校進学等
 - ・ 対象者 中学生
 - ・ 会場 十日市場地域ケアプラザ、長津田地域ケアプラザ、中山地域ケアプラザ
 - ・ 事業内容 個別学習支援、相談支援
- 高校中退防止
 - ・ 対象者 寄り添い型学習支援事業の卒業生や生活困窮世帯の高校生
 - ・ 会場 十日市場地域ケアプラザ、長津田地域ケアプラザ、中山地域ケアプラザ
 - ・ 事業内容 居場所の提供、スタッフによる学習指導や相談支援

高校生世代支援事業（元年度モデル事業）

- 対象者 高校に通学・在籍すること限定せず、おおむね15歳から18歳
- 事業内容 情報提供や体験機会の提供

③ みどりの魅力あふれるまち 59,808千円

18 緑区制50周年記念事業【重点】50 12,532千円
【前年度：緑区制50周年準備事業】

10月に緑区制50周年を迎えるにあたり、区民とともに50周年を祝うため、実行委員会主催の記念事業を実施するとともに、区民に向けたPRを展開します。

(1) 緑区制50周年記念事業

ア 参加型アートイベント「わらアート」

(ア) 作品小(亀・馬)の公開制作(7月29日～8月9日 緑区役所)

(イ) 作品小(亀・馬)の学校巡回展示(9月中旬～11月中旬 区内小学校、養護学校)

(ウ) 作品大(龍)の制作(11月2日～11月18日 JR横浜線から見える田んぼ)

(エ) 田んぼでの展示(11月23日～12月1日 JR横浜線から見える田んぼ)

(オ) 関連イベント(11月23日・24日、11月30日・12月1日

JR横浜線から見える田んぼ、中山駅北第三公園)

イ 子どものまちづくりイベント「Mini Mini Midori」

(8月24日・25日 中山地区センター)

ウ 緑区制50周年記念誌の発行(3月)

(2) 50周年PR事業

PRグッズの作成等

(3) 緑区制50周年記念事業実行委員会の開催

実行委員会の開催(7月18日、10月17日、3月)

19 緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業 50 700千円

人生の節目となる婚姻届・出生届を出された方に、緑区制50周年のPRとともに結婚・出産のお祝いを記載したメッセージカードを配付し、区民とともに祝う機運を高めます。

(12月まで)

○配布実績 婚姻届用406枚、出生届用649枚(4月～7月)

20 住み続けたいふるさと緑区事業【新規・重点】50 11,000千円

緑区制50周年を記念して、「住み続けたいふるさと緑区」を共通のテーマとし、区内の公共構造物への壁画製作、記念植樹の実施及びオリジナルデザインマンホールの設置を行います。

(1) ふるさと緑区壁画事業

次世代を担う緑区内の小中学生が、自分たちの暮らすまちの魅力や未来をテーマとした壁画を公共構造物(道路施設、公園施設)に描きます。

ア 小中学校との調整(4月～6月)

イ 壁画作成(7月～12月)

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) ふるさと緑区植樹事業

区内 11 の連合自治会と協働で緑区制 50 周年を記念する植樹を実施します。

- ア 記念植樹業務委託の契約締結（5月）
- イ 各連合自治会との調整（5月～1月）
- ウ 記念植樹の実施（9月～1月）

(3) ふるさと緑区デザインマンホール設置事業

次世代を担う緑区内の小学生から緑区の魅力や将来像をテーマとしたデザイン案を募り、学校付近の歩道にデザインマンホールを設置します。

- ア 区内小学校とデザイン案の調整（4月～5月）
- イ デザインマンホールの製作、設置個所の検討（6月～10月）
- ウ デザインマンホールの設置（10月～12月）

21 身近で親しみやすい水辺環境づくり事業

2,340 千円

【前年度：親しまれる水辺環境づくり事業】

梅田川・岩川沿いに、河川周辺マップ・みどころ案内・洪水ハザード情報等を複合的に掲載した看板の設置を進め、水辺環境の魅力アップや地域防災意識の向上を図ります。

(1) 案内看板の設置事業（梅田川）

- ア 看板デザイン及び設置箇所の確認（6月～8月）
- イ 看板の製作・設置（9月～1月）

22 魅力ある公園づくり事業

450 千円

区内の公園には特色ある複合遊具、健康遊具等の様々な遊具が設置されています。これらの魅力を発信するため、現在発行している緑区公園マップについて、公園の追加、紹介内容の更新を行います。

(1) 緑区公園マップの更新

- ア 公園マップ更新用データ・写真整理（4月～6月）
- イ 印刷・製本委託の発注（6月～7月）
- ウ 公園マップの更新・印刷（7月～11月）

23 みどり！まるごと応援事業

3,415 千円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信していきます。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力発信する動画の配信のほか、自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めます。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」の実施を通じて地域の活動を応援します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力进行PRするとともに、「農」に対する理解を深めます。

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。(年6回)

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ウェブサイト等で定期的に動画を配信することで、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えます。(2本配信 8月、10月)

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信や農家と飲食店との交流会等の実施により、よこはま地産地消サポート店登録数を増やし、飲食店の地産地消を進めます。

(交流会 6月12日、8月19日、ほか2回実施)

(よこはま地産地消サポート店 14店舗 7月末現在)

また、よこはま地産地消サポート店と連携して、区民まつりにPRブースを出展(10月20日)、区内のよこはま地産地消サポート店を巡る「地産地消みどりグルメスタンプラリー」(1月)を実施します。

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピコラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。

オ 地産地消講座

区内の畑で収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。(6月8日、7月9日、ほか1回実施)

(2) みどり! 魅力再発見事業 **50**

ア フォトワークショップ

緑区への関心を高めるため、区内小学生向けフォトワークショップを開催しました。

(5月11日 東京工业大学すずかけ台キャンパス 小学生11人)

イ 緑区遺産

区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行するほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援します。(18件)

また、緑区遺産を巡るウォーキングイベントを実施し、事業PRを図ります。

(11月12日、12月7日)

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等をお無償で利用してもらい、所有者に対し奨励金を支払います。

なお、空き家・空き店舗を活用した施設を設置する際には、SDGs未来都市地域主体型事業「地域のつながりづくり推進事業」(P.26)により、備品等の整備費助成を行い、施設の設置を促進します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

24 みどり地域まちづくり推進事業

1,928 千円

平成 26 年 12 月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区、霧が丘地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりを、専門家派遣等により支援します。また、新たな地区での支援についても、地域の要請に応じ対応します。

改定から 5 年が経過する「緑区まちづくり計画」について、進捗状況の点検および社会情勢の変化等に伴う現状の課題抽出調査を行います。

ア 山下地区

(ア) 山下地区安全・安心まちづくりプラン実現に向けた推進、プラン改定を視野に入れた地域の課題抽出

(イ) 山下地区ささえあいバス本格運行出発式（4 月 2 日）、
利用促進（利用会員 203 人 8 月 20 日現在）

イ 東本郷地区

東本郷地区まちづくりプラン実現に向けた支援（協議会 4 回）

ウ 十日市場地区

十日市場駅南口広場での「いちば」の開催
（夏：6 月 29 日、7 月 6 日・13 日、冬：11～12 月）

エ 霧が丘地区

霧が丘 6 丁目まちづくり推進会への専門家派遣（6 月～3 月）

オ 「緑区まちづくり計画」

進捗状況の点検（8 月～3 月）

(2) みどころ案内サイン

既存のみどころ案内サインを点検し、必要に応じた改修を行います。

25 読書活動推進事業

300 千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 本に親しむ環境づくり

ア 青少年及び成人を対象とした講演会の開催（8 月 7 日 22 人、11 月 16 日）

イ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」（10 月 20 日）

ウ 緑図書館で CD ブックの貸出

エ 赤ちゃん絵本セット貸出

オ まちライブラリー事業

カ 読書まっぷの配布

(2) 家庭・学校・地域での読書活動推進

区内読書関連施設との読書活動推進連絡会の開催（7 月 10 日、2 月）

子育て関連施設や絵本や読み聞かせ団体のネットワーク支援・イベント開催（5 月 14 日～17 日）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) ボランティアの育成と地域のつながりづくり

読書活動に係る中高生ボランティア育成のための講座実施（8月2日）

26 子ども達の夢の緑区推進事業

1,314千円

平成21年の緑区制40周年を記念して区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿「夢みどり50プラン」の実現に向けて、50プランに描かれた7つの「ねがい」に基づき、小・中学校と連携して取組を進めていきます。

緑区制50周年となる元年度は、事業終結年度としてこれまでの活動の集大成となるよう、小・中学校との連携をより一層深めていきます。

(1) 学校の取組支援事業 **50**

ア 夢みどりリーダー会議

○参加者 区内の全小・中学校の代表児童・生徒

○内容 中学校ブロックごとに未来の緑区に向けたメッセージを話し合い決定します。

イ 記念看板等の設置

リーダー会議でまとめたメッセージ入り記念看板等を子ども達が選んだ公園等に設置し、取組の成果を次世代に残します。

ウ 地域団体と連携した地域清掃活動

竹山小学校（全校生徒 約250人）

(2) ふれあい交流事業 **50**

区民まつりに携わる小中学生ボランティアを一般公募し、地域の人とのふれあいやボランティア活動を実践する場を提供します。（10月20日）

27 緑・芸術文化事業

2,523千円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供に取り組みます。

また、緑区制50周年を記念した取組を進めるため、区内芸術文化団体・機関と連携していきます。

(1) 緑・芸術祭事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

(ア) 緑区制50周年記念中学生合唱団 **50**

練習12回（4月～10月）

山田和樹指揮 東京混声合唱団特別演奏会へゲスト出演（8月23日 県立音楽堂）

東京混声合唱団・中学生合唱団「緑区制50周年記念コンサート」開催

（10月27日 緑公会堂）

(イ) 緑区民音楽祭ふれあいコンサート

第136回「音楽の贈りもの」千住真理子ほか

（5月5日 緑区民文化センター 327人）

(ウ) 「緑区コーラスのつどい」（11月10日 緑区民文化センター）

(エ) 「創造と森の声2019」（5月～9月 横浜動物の森公園 植物公園予定地）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- イ 区が主催する事業
「サークルミニギャラリー」（年8回 緑区役所）
- ウ 緑区民文化センターとの連携事業
「お昼のロビーコンサート」（5月22日、10月9日、12月11日、3月25日
緑区役所）
- エ 公募事業に対する支援（15事業）

（2）交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の交流・育成を図ることを目的として「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をします。
（10月～3月 5事業 緑区役所）

28 3R推進事業

2,146千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開していきます。

（1）みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催（5月20日）

（2）3Rの普及・啓発

- ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催
- イ 店頭キャンペーン（年4回）
- ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発
- エ 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発
- オ 緑EＣＯ通信の自治会班回覧（7月、2月）
- カ 転入者向け啓発・分別相談（原則として毎週水曜日 緑区役所）
- キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理
- ク 衣類（子ども服）のリユースを開催（6月1日、11月30日）

（3）リユース食器の利用・促進

リユース食器利用促進補助金の交付

29 きれいなまちづくり事業

2,151千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

（1）花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽（5月11日・21日、11月）

（2）地域ふれあい活動事業

- ア 地域清掃活動団体への支援
- イ 不法投棄対応

（3）駅さわやか活動事業

- ア 美化推進重点地区（中山駅周辺）及び区庁舎周辺の清潔保持
（ア）中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃を実施
（5月24日、11月22日）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃（8月、12月を除く毎月第4金曜日）

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催（年6回）

中山駅（5月24日、11月22日）周辺早朝清掃と同時実施

長津田駅（6月26日）、鴨居駅（6月27日）、十日市場駅（6月28日、11月）

30 足を運んでみよう！商店街事業

1,308千円

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えることとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営する「緑区商店街ポイントラリー」を、緑区制50周年記念イベントとして23日間開催します。（10月5日～27日） **50**

31 区民まつり事業

4,900千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施します。

10月に緑区制50周年を迎えるため、例年のイベントに加え、横浜音祭りと連携したイベントや緑区制50周年を記念するイベントを開催することで、区民の皆さまと一緒に祝いします。 **50**

○開催日時

10月20日 10時から15時まで

○会場

県立四季の森公園

○テーマ

あゆみ 育む ふるさと みどり ～次世代につなぐ区民まつり～

- ・安全・安心なまつり
- ・いきいき健康まつり
- ・みどりの魅力あふれるまつり

○実施内容

・ステージイベント

区民発表型イベントのほか、主催者枠で次の内容を実施

北部4区のマスコットキャラクターによる緑区の誕生からの歩みなどの寸劇

横浜音祭りと連携による音楽とダンスが融合したステージイベント

横浜市消防音楽隊（金管アンサンブル隊）による演奏

・サブイベント・出店

参加型イベントや集客力のある催しもの及び各種団体の活動PR、啓発活動、飲食や物品の販売等の出店

・3R環境行動の取組・普及啓発に関する出店・各種イベント

・50周年記念エリアの設置（新規に南側「ちびっこ広場」を使用）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

32 地域振興事業

1,935 千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催（3月）

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年ごとに、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

昨年度に引き続き十日市場団地連自治会を選定しました。自治会加入に向けたこれまでの画一的な支援だけではなく、その地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。

33 市民活動パワーアップ支援事業

2,872 千円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会（5つの部会で構成）との協働により区民主体で緑区制50周年を記念した取組となる事業を企画・実施します。

また、みどり一む開設10周年を契機として発足した、未来のみどり一むを考える「みどり一むネクスト」における新たな取組を引き続き進めます。

(1) 市民活動セミナー等の開催 **50**

ア 市民活動セミナー（9月10日、1月、2月）

イ 地域福祉セミナー（1回）

ウ 防災・減災講座（9月28日、2月）

エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座（8月16・17日 434人（保護者含む））等

(2) 市民活動団体交流事業の開催 **50**

ア Open!みどり一む（8月25日、10月20日、2月）

イ みどり市民活動交流会（9月8日）

ウ みどり一むまつり（3月）

エ サロンふらっと（毎月第3日曜日）

(3) 地域の国際交流事業の開催 **50**

ア 国際交流イベント

交流会、日本語発表会など

イ 日本語ボランティア養成講座基礎編（7月～8月 23人）

ウ ウェルカムキットの配布（戸籍課で配布）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (4) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催 **50**
- ア 生涯学級（「横浜線ものがたり」「自然を楽しむ講座」（4月～6月）ほか2学級）、家庭教育学級「イキイキおかあさん」（10月～11月）
 - イ 生涯学習グループ交流会・研修会の実施
- (5) 緑区地域施設間連携会議 **50**
- ア 緑区地域施設間連携会議（2回）
 - イ 施設間連携スタンプラリーの実施（11月～12月）
- (6) パソコン相談コーナーの運営
- ア 「めだかの学校」の設置・運営
（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日）
 - イ パソコン初心者対象の講習会「めだか塾」の開催（毎月4回）
- (7) IT講習会の開催
- ワード講習、エクセル講習等（年6回 各地区センター）

34 みどりスポーツ推進事業

1,981千円

区民の健康づくりとスポーツの盛んなまちづくりが一層進むよう、地域スポーツ関係団体の取組支援、区民が身近で気軽にスポーツを楽しめるイベント等を開催します。

また、「ラグビーワールドカップ2019™」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」を緑区から盛り上げ、緑区制50周年と連動した事業を展開します。

(1) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区体育協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（6月23日 緑スポーツセンター 680人）

(2) ラグビーワールドカップ・オリンピック・パラリンピック推進事業 **50**

ア 「ラグビーワールドカップ2019™」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を見据え、市民が新たなスポーツに触れる機会や実際のトップ選手との交流ができるようなイベントの実施

(ア) 読書×ラグビー講演会（9月7日 緑スポーツセンター）

(イ) 人権啓発講演会（12月4日 緑公会堂）

(ウ) オリンピック・パラリンピック啓発イベント（12月）

イ 緑区ランニングフェスタ2019の開催（12月）

ウ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル（11月23日 横浜スタジアム）

(3) 緑区体育協会事業

加盟する各団体等（15団体、3関連団体）の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

35 広報・広聴事業

1,881千円

【前年度：区民への情報提供事業】

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるため、ガイド・防災マップを作成するほか、ホームページ等を活用し、様々な広報活動を実施します。

また、区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するため、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (1) みどり区ガイド・防災マップの発行
- (2) 広報スキルアップ研修
横浜市職員（緑区・他区）及び緑区内区民利用施設職員向け（8月22日 36人）
- (3) 緑区役所意見箱の運営
緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。
（20件 7月末現在）
- (4) 「ふれ愛♡トーク」の開催
みどり区内で活躍している団体と区長が懇談し、具体的な活動内容や思いについて広報やホームページ等で紹介していきます。

36 区民から親しまれる区役所づくり事業

4,132千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

- (1) 接遇向上等研修事業
職員に対する接遇向上研修を実施し、スキルの向上を図ります。（10月～11月）
- (2) 人権啓発・職員研修事業 **50**
偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。
また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。
- (3) 緑区表彰事業 **50**
緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、区長表彰を行います。また、今年は「緑区こもれび躍るふれあいのまちづくり顕彰」の表彰を緑区制50周年式典の中で実施します。これまで表彰を受けた方々もお招きし、多くの区民とその活躍を称え、祝います。
- (4) 緊急的課題への対応
来庁する区民の皆様が快適に過ごしていただけるように庁舎の美化・緑化を進めるとともに、より利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、緊急的課題に対応していきます。
- (5) ミドリン商標登録 **50**
ミドリン商標の更新（画像）及び新規登録（名称）を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

SDGs 未来都市推進事業

1,000千円

SDGs 未来都市地域主体型事業

地域のつながりづくり推進事業

1,000千円

自治会等の地域団体が、空き家、空き店舗を活用して、地域福祉保健計画地区別計画や地域が自ら策定した計画等に基づいて地域で取り組まれている各種活動の拠点やサロン・カフェといった住民が気軽に立ち寄れるスペースを設置する際に、必要な備品等の整備にかかる費用を助成します。

また、自主企画事業「地域のつながり施設設置事業」(P.18)により、地域団体の設置場所確保を支援し、拠点等の設置を促進します。

令和2年度 緑区予算編成の考え方(案)

緑区は令和元年10月に区制50周年を迎え、新たな時代へのスタートを切りました。

豊かな自然に恵まれた魅力あふれるこのまちを、子どもたちや地域の新たな担い手など「次世代」に引き継いでいけるよう、区民の皆さまの声に応え、区民の皆さまと共に職員が一丸となって、地域の課題解決に向けたさまざまな施策に積極的に取り組んでいきます。

令和2年度予算編成にあたっては、次の3つの柱に基づいて、区民の皆さまが快適で住み続けたいと思える「みんなにやさしいまち」を目指します。

また、区制50周年で改めて感じていただいた緑区の魅力をさらに高めていくための取組も進めます。

1 安全・安心なまち

自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な活動を支援するとともに、災害対策本部機能の充実、食の安全、感染症予防等危機管理の取組を着実に推進し、安全・安心なまちづくりを進めます。

2 いきいき暮らせるまち

子どもや子育て中の方、高齢者や障害者及びその介護者、外国人など、誰もが安心していきいきと暮らし続けられる、共に支えあうつながりのあるまちづくりを進めます。

また、健康寿命を延ばすための自発的な活動を支援します。

3 みどりの魅力あふれるまち

区制50周年を機に再認識した、みどりあふれ自然の恵み豊かな環境と、さらに活発となった地域活動を、区民の皆様と共に守り育て、魅力あふれるこのまちを次世代につなぐ取組を進めます。

また、歴史的資源、活力ある都市農業や商業、文化・芸術・スポーツ活動等の緑区の様々な魅力を内外に発信していきます。